



内山隼人議員  
(Think globally,  
Act locally!)



### 「主体的・対話的で深い学び」の取り組みは？

**問** 現在の学習指導要領は、「生きる力」学びの、その先へ」というテーマの下、願いとして、「これからの社会が、どんなに変化し予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断し行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい」とあり、学び方の指針として、「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」が示されている。本市ではどのように取り組まれているか。

**答** 「教育長」市内小・中学校において「思考し、表現する力を高める実践モデルプログラム」を活用した授業実践が行われ、見通しをもつ場面や考えを深める場面では、小グループでの意見交換や全体での意見交換、考えたことを共有する学習活動が展開されている。

### 小規模特認校制度の導入を

**問** 少人数ならではのきめ細かな指導や特色ある教育を行う学校（自

然環境を生かした体験学習、ICT活用による他校との交流、英語教育、STEAM教育など）へ、通学区域に關係なく、市内のどこからでも通学できるように認める小規模特認校制度の導入によって、少人数の学校の廃校予防策になるのではないかと。

**答** 「教育長」児童生徒数が減少傾向で推移している本市の現状としては、当制度を実施することとは難しい。

### エディブルスクールヤードを取り入れては？

**問** エディブルスクールヤードは、「Farm to table」をテーマに、菜園から食卓へ一連の流れを通して学ぶ菜園学習プログラムである。日々の暮らしの中で、目の前の食べ物がどこからやってきたのか、どんな環境で、どんな人たちの手で育てられ、運ばれ、どんな思いで調理され、テーブルに並んでいるのか、思いを巡らせることはあるだろうか。食べ物や命のつながりに思いを馳せる想像力や本質を問う思考力と行動力を育むことで、本当の意味で持続可能な未来をつくる大きな力になると考える。本市でも取り入れてはどうか。

**答** 「教育長」市内校長会などを通して各小学校へ周知していきたい。



伊東一成議員  
(匠風)



### 災害時要援護者対策について

**問** 災害時にはひとり暮らし高齢者の安否確認が必要となるため、定期的に調査を行い、ひとり暮らし高齢者名簿を作成してはどうか。

**答** 「市長」令和5年8月に抽出した避難行動要支援者に係るデータを基に、ひとり暮らし高齢者名簿を作成した。

作成に当たっては、名簿に記載された住所と匝瑳市ハザードマップにおける津波や河川氾濫による浸水想定区域及び土砂災害警戒区域を照合することにより、安否確認を行う際の参考としている。

### 野栄総合支所について

**問** 野栄総合支所は人員削減により総合支所方式の機能を維持しているとはもはや言いがたいが、今後組織を見直す考えはあるか。

**答** 「市長」現在のところ野栄総合支所の組織の見直しは考えていない。

### 排水対策について

**問** 新たな市民病院建設や産業用地整備により排水の悪化が懸念され

るが、台風等の大雨時に周辺に及ぼす影響について考慮しているか。

**答** 「市長」市民病院の建設に当たっては、水田を埋め立てることの影響が周辺に及ばないよう、排水施設について十分考慮する必要があると考えている。台風等の大雨時にも周辺への影響が及ばないよう、今後の基本設計及び実施設計の段階でしっかりと対策を検討していく。

また、産業用地の整備に当たっては、事業区域、面積、立地企業の業種などを考慮して調整池を整備し、地区の雨水排水を調整池で調整した上で放流することとなる。

### 森林環境譲与税の活用について

**問** 本市では森林環境譲与税をどのように活用しているのか。

**答** 「農林水産課長」これまで、市では、森林クラウドシステムの利用料や千葉県森林経営管理協議会費用に使用しているほか、農村公園の木製の看板や橋の修繕に活用している。

### 給食用米の選定について

**問** 学校給食で提供されている米はどのように選定されているのか。

**答** 「教育長」現在、給食用の米は、平成28年10月から市内産ふさこがね一等米を選定している。

コシヒカリの価格がそれ以前の価格より高くなってしまったことから、千葉県独自米で食味もよく、価格も適度と考え、変更した。